

# 政策シート 政策名 02 生涯スポーツを楽しむ機会の拡大

## 予算費目名 01 スポーツ文化推進費

### 1 基本情報

#### (1) 総合計画体系

分野 06 文化・生涯学習

理想の姿 (30年後)	◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。
政策の柱 (10年後)	◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。 ◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策 01 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

#### (2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機に、地元トップチームやパラスポーツ団体と連携したイベントの誘致や開催により、市民との交流の場を創出するなど、誰もがスポーツを楽しめるインクルーシブスポーツ推進による共生社会の実現に向けた環境を醸成する。トップアスリート連携事業や浜松シティマラソン、スポーツイベント開催など地域スポーツ振興事業の展開や、合宿や大会誘致などスポーツコミッション事業の拡大により、スポーツ人口の拡大、浜松市の情報発信と交流人口の拡大を目指す。ビーチ・マリンスポーツ推進事業は、必要な拠点整備の準備とともに、競技団体等と連携したイベントの開催などにより、整備に向けた機運の向上と競技人口の拡大を目指す。スポーツ施設は、指定管理者等とも連携し、ソフト事業の充実を図ることで、地域スポーツ振興や賑わい創出、利用者や地域目線を重視した施設の再整備など、より一層のスポーツ振興に繋げる環境づくりを進める。

#### (3) 関連するSDGsのゴール

	③保健			⑧成長・雇用	
		⑭海洋資源		⑰実施手段	

### 2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	2,591,990	2,183,035	2,027,211	1,584,549	2,235,896	
決算	2,550,385	2,141,722	1,939,104	1,471,341		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	85,680	84,980	86,380	79,800	79,800	
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,636,065	2,226,702	2,025,484	1,551,141	2,315,696	

### 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
スポーツ実施率(1回以上/週 実施している人の割合)	%	目標	65	65	65	65	65	65
		実績	42.5	49.5	50	-		
大型スポーツイベント等誘致数	件	目標	10	10	10	10	10	10
		実績	13	3	14	16		
トップアスリート交流人数	人	目標			1,500	1,650	1,820	2,000
		実績			2,124	2,154		

### 4 前年度(2022年度)政策評価

#### (1) 前年度(2022年度)実施内容

地元トップチームやパラスポーツ団体との連携による新たな大型イベントの誘致活動やトップアスリートと市民との交流を図った。シティマラソンやトップアスリート連携事業などのスポーツイベントについても開催に向けて工夫を凝らし、競技スポーツや生涯スポーツの振興を図った。スポーツ施設については、指定管理者との連携のもと、感染症対策を徹底し、安心してスポーツに取り組める環境づくりを行った。ビーチ・マリンスポーツ推進事業について、江之島ビーチコート建設に向けた準備を進めるとともに、浜名湖沿岸のマリンスポーツに必要な施設整備の検討を進めた。

#### (2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	不明
新型コロナウイルス感染症の対策を徹底したことや感染者が減少したことで、大会の再開や施設運営も通常の形に近づき、ウィズコロナ時代において、引き続き感染症対策の実施とデジタルの活用により、スポーツ活動ができる環境づくりを進めた。また、サークルや地域活動に参加するのではなく、個々にスポーツを行う等、多様化の傾向が見られ、こうした市民のニーズを踏まえ、今後の取り組みに反映させ、スポーツ実施率の更なる向上を目指していく。ビーチ・マリンスポーツ推進事業については、引き続き施設整備に向け関係団体との協議等を行うとともに大型スポーツイベントの誘致や国際大会の誘致に繋げていく。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	スポーツ普及・活性化事業	○	○		22,359	13,119	1.2			0.3	
2	大型スポーツイベント等誘致事業	○	○		28,596	20,196	1.2				
3	(新規)パラスポーツ推進事業	—	○		29,678	27,578	0.3				
4	ビーチ・マリンスポーツ推進事業	○	○		46,007	41,807	0.6				
5	スポーツ発信交流事業	—	○		34,580	17,500	2.4			0.1	
6	生涯スポーツ振興事業	—	—		137,216	127,276	1.3			0.3	
7	競技スポーツ振興事業	—	○		20,426	14,966	0.7			0.2	
8	スポーツ施設運営事業	—	○		1,974,708	1,960,008	2.1				
9	スポーツ施設整備基金積立金	—	—		5,364	4,664	0.1				
10	スポーツ文化推進運営経費(一般経費のみ)	—	—		16,762	8,782	1.1			0.1	
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					2,315,696	2,235,896	11.0			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 01 スポーツ普及・活性化事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

浜松市スポーツ協会など本市のスポーツ振興を支える団体と連携を図り、市民のスポーツ活動を活発化させ、市民のスポーツ実施率を向上させる。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2010	-	一般会計	自治事務(その他)	

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-3(3)ア						

#### (4) 関連するSDGsのゴール

	③保健							
事業とゴールの関連性	スポーツ実施率の向上により心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。							

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,678	4,041	6,633	5,032	13,119	
	決算	4,678	3,370	6,217	5,032		
	国・県支出		444	525	587		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	4,678	2,926	5,692	4,445	13,119	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,960	8,960	8,960	11,340	9,240	
人工	正規	1	1	1	1.5	1.2	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0	0.3	0.3	
年間経費(予算又は決算+A+B)		13,638	12,330	15,177	16,372	22,359	

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
トップアスリート交流人数(人)		目標			1,500	1,650	1,820	2,000
		実績			2,124	2,154		
パラアスリート交流人数(人)		目標			450	500	550	600
		実績			675	762		
地域スポーツ指導者登録者数(人)		目標	355	360	370	380	390	405
		実績	294	288	293	301		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

#### 4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・トップアスリート連携事業により、トップアスリートのプレーを間近に感じることでスポーツに対する関心を抱かせ、スポーツ実施に繋げていく。
- ・「三遠ネオフェニックス(バスケットボール)」「アグレミーナ浜松(フットサル)」「ブレス浜松(バレーボール)」「ジュビロ磐田(サッカー)」などのプロスポーツチームとの連携を図る。
- ・トップアスリート連携事業にパラアスリートの派遣を加え、パラスポーツへの理解と啓発に努める。
- ・スポーツ健康相談事業によりメディカルチェックや講演会による啓発を行う。
- ・浜松市地域スポーツ指導者養成講習会事業(各地域でのスポーツ活動の中心となる指導者を養成する)によりスポーツ活動の応援団を増やす。



#### 5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・トップアスリート連携事業などを実施し、するスポーツの推進を図った。

・トップアスリート連携事業により、「ホンダFC」、「三遠フェニックス」、「スズキアスリートクラブ」、「ヤマハ発動機ジュビロ」、「ヤマハ野球部」の選手を幼稚園や小中学校に派遣し、トップアスリートのプレーを間近で感じてもらい「みるスポーツ」の振興を図った。

・「スポーツ健康相談事業」において医学的な啓発活動を行うことにより、ケガの予防などの意識を高めた。

・「地域スポーツ指導者講習会養成事業」を実施し地域スポーツ振興のリーダーを育成した

・パラスポーツの種目として、ブラインドサッカーで2校、ポッチャで1園、選手及び指導者を派遣し、インクルーシブスポーツの推進を図った。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

性別、年齢、障害の有無等に関係なく、多様な主体がスポーツに楽しむために、誰もが等しく参加できるスポーツ実施環境を整える必要がある



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

・スポーツ推進審議会において、第2期浜松市スポーツ推進計画の進捗状況について「する」「みる」「ささえる」のそれぞれの視点で確認した。

##### (2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

・トップアスリート連携事業では、パラスポーツ選手の派遣を加え、障がい者スポーツへの理解を深めていく。

・地域スポーツ指導者について、広報周知を強化し、登録者の確保に努める。

・第2期浜松市スポーツ推進計画の進捗管理をスポーツ推進審議会を中心に実施していく。

・第3期浜松市スポーツ推進計画の策定に向けて、検討を始める。



#### 7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

・地元のトップアスリート等を学校等に派遣する「トップアスリート連携事業」により、スポーツへの興味を抱いてもらう。

・トップアスリート連携事業にパラアスリートの派遣を加え、パラスポーツへの理解と啓発に努める。

## 事業シート (事業名) 02 大型スポーツイベント等誘致事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

大型スポーツイベントの開催やトップアスリート合宿の誘致などを通じて、市民の皆様にはスポーツの感動に触れていただくため「みるスポーツ」を推進する。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2016	-	一般会計	自治事務(その他)	

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						

#### (4) 関連するSDGsのゴール

	③保健				⑧成長・雇用	
					⑩実施手段	
事業とゴールの関連性	③東京オリンピック・パラリンピックや国際大会、全国大会などを通じ、市民がスポーツにおける感動に触れることで、市民の健康的な生活を促進する。 ⑧国際的なスポーツイベントなどを通じ、国際誘客を促進し、交流人口を拡大する。 ⑩世界のアスリートを受け入れることを契機に、国際的なパートナーシップを築き上げ、多文化共生社会を促進する。					

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	79,775	6,335	13,217	16,211	20,196	
	決算	77,968	6,335	11,574	16,211		
	国・県支出		500	4,616	500		
	市債						
	その他	650				1,420	
	一般財源	77,318	5,835	6,958	15,711	18,776	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	15,540	12,460	12,460	7,700	8,400	
人工	正規	2	2	2	1.1	1.2	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		93,508	18,795	24,034	23,911	28,596	

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
大型スポーツイベント等誘致数(件)		目標	10	10	10	10	10	10
		実績	13	3	14	16		
欧米豪からの外国人宿泊客数(千人)		目標	36	-	-	-	-	-
		実績	31	-	-	-	-	-
大型ビーチ・マリンスポーツイベントの誘致等		目標			調査研究・ 目標設定	誘致交渉	誘致交渉	イベントの 開催
		実績			調査研究・ 目標設定	誘致交渉		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2023年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	02	スポーツ振興課	松野英男	2023.7.1

#### 4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックブラジル選手団の受入れを継続するため、レガシー協定を締結。
- ・各競技団体と連携し、大型スポーツイベント、合宿誘致に向けた調整
- ・ベトナムU17男子サッカーチーム事前合宿の誘致及び受け入れ
- ・各種国際大会、全国大会の開催誘致及び大会運営を支援する大会補助金の交付
- ・本市を本拠地とするプロスポーツチームの観戦招待事業を実施。
- ・ブラインドサッカー日本選手権を開催するとともに、市内の大型商業施設や大学での体験会を実施。
- ・全国高等学校選抜ボート大会の開催(全国高等学校選抜ボート大会実行委員会への開催負担金)



#### 5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・全国大会以上の大規模大会の開催事業費補助金を5件交付したことで、指標が目標を超えることができた。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピックのブラジル選手団の事前合宿受け入れ実績がブラジルオリンピック委員会及びパラリンピック委員会から評価され、今後も両国の友好関係をさらに深め、より強固なものとしていくため、両委員会とレガシー協定を締結した。
- ・浜松で強化合宿をしたナショナルチームから今後も継続するためには金銭的支援を求める声も上がっている。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

大規模スポーツイベントの開催は、新型コロナウイルス感染症による開催条件が緩和され、多くの大会が再開されてきたことに伴い、受入れ会場施設確保の問題及び申請件数増加による予算不足が生じている。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・ナショナルチーム等のトップアスリートの合宿に特化した合宿補助金の創設を図った。
- ・誘致すべき大規模大会には支援強化を図るなど、大会規模に応じたメリハリのある補助金交付要綱に見直した。
- ・プロスポーツ支援については、具体的な支援方法について地元プロスポーツチームと調整を行った。

##### (2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・大型スポーツイベント誘致に向け、各競技団体と連携を図りながら、PR活動を展開する。
- ・本市を本拠地とするプロチームの観戦招待事業は、アンケート結果を検証し、改善を図る。
- ・2025年の東京世界陸上大会、デフリンピック大会、2026年アジア競技大会等の国際大会に向けた誘致活動を強化する必要がある。



#### 7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・各競技団体と連携しながら、大型スポーツイベントの誘致に向けた調整を行う。
- ・国際大会、全国大会の開催誘致及び大会運営を支援する大会補助金の交付
- ・ナショナルチーム、プロチーム、実業団の事前合宿の誘致及び合宿補助金の交付
- ・スポーツコミッション用の販促物を作成し、大都市圏で開催される展示会や競技団体へのPR活動を展開する。
- ・本市を本拠地とするプロチームの観戦招待事業は、アンケート結果を検証し、事業展開する。
- ・レガシー協定に基づく、ブラジル選手団の事前合宿受け入れの実施
- ・全国高等学校選抜ボート大会の開催(全国高等学校選抜ボート大会実行委員会への開催負担金)

## 事業シート (事業名) 03 (新規) パラスポーツ推進事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

東京2020パラリンピック競技大会を契機にパラスポーツ推進の機運が高まりをレガシーとして継承するため、市民のパラスポーツに対する理解及び興味関心を高めるための事業を実施し、共生社会の実現を目指す。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2023	-	一般会計	自治事務(その他)	

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

			④教育	⑤ジェンダー					⑩不平等
事業とゴールの関連性	④パラスポーツの価値や異文化、共生社会について何かできるかと考える機会を創出する。 ⑤障がい者と健常者のお互いの理解を深めることで、誰もが同じフィールドで夢と希望を持てる社会を実現する。 ⑩障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめるインクルーシブスポーツを推進し、多文化共生社会を促進する。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算					27,578	
	決算						
	国・県支出					1,876	
	市債						
	その他						
	一般財源					25,702	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)					2,100	
人工	正規					0.3	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)						29,678	

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
パラスポーツへの興味度(%)		目標					35	36
		実績						
パラスポーツ体験延べ人数(人)		目標					500	500
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2023年度

(管理番号)

分野  
06

基本政策  
01

政策  
02

予算費目  
01

所属コード  
000625000

事業  
03

(担当課)  
スポーツ振興課

(責任者)  
松野英男

(基準日)  
2023.7.1

#### 4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

#### 5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

##### (2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

#### 7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・スポーツ大会出場激励金要綱を改正し、障がい者スポーツ大会出場激励金制度を展開
- ・県わかふじ国体(9月)、市障害者スポーツ大会(9月16日)、全国障害者スポーツ大会(10月)、東海3県2市障害者スポーツ大会(2024年1月)の開催に伴う選手派遣・選考の実施
- ・市民の誰もが参加し多様なインクルーシブスポーツを体験できる東京2020オリパラレガシーイベントの実施
- ・ブラインドサッカー日本選手権準決勝ラウンド開催

## 事業シート (事業名) 04 ビーチ・マリンスポーツ推進事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

「ビーチ・マリンスポーツ事業化計画」に基づき、大会誘致ゾーンや観光・交流ゾーンなど拠点となる地区の整備を行い、ビーチ・マリンスポーツを普及させる。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2019	-	一般会計	自治事務(その他)	

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						

#### (4) 関連するSDGsのゴール

			⑭海洋資源						
事業とゴールの 関連性	海や湖を利用する側として、自然の大切さを知り、共生できる取り組みを行う。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	15,675	12,706	45,439	45,975	41,807	
	決算	4,616	11,789	43,720	45,248		
	国・県支出				10,584	17,435	
	市債						
	その他					550	
	一般財源	4,616	11,789	43,720	34,664	23,822	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	2,800	2,800	2,800	2,100	4,200	
人工	正規	0	0	0	0.3	0.6	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		7,416	14,589	46,520	47,348	46,007	

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
江之島ビーチコートの整備		目標	サブコート完成	基本計画 ・設計	基本設計	土壌調査	実施設計	解体工事
		実績	サブコート完成	基本計画 ・設計	基本設計・ 地歴調査	事業手法検討・ 土壌調査		
大型ビーチ・マリンスポーツイベントの誘致 等		目標			調査研究・ 目標設定	誘致交渉	誘致交渉	イベントの 開催
		実績			調査研究・ 目標設定	誘致交渉		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

#### 4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・江之島ビーチコート of 土壌調査を実施する。
- ・江之島ビーチコート整備に向け、民間活力を導入した発注手法の検討を行う。
- ・三ヶ日地区の基本構想を策定する。
- ・ビーチ・マリンスポーツ推進協議会部会を開催し、基本設計の進捗や大会・イベント開催に関する情報交換を実施する。



#### 5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・土壌調査を実施し、法律の基準に適合していることが確認できた。
- ・事業手法を検討し、民間活力を導入した発注方式に優位性があることを確認できた。
- ・三ヶ日地区の現状や条件等を整理し、競技団体の意見を反映させた基本構想を策定した。
- ・ビーチ・マリンスポーツ推進協議会部会を開催し、活発な意見交換を行うことができた。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・ビーチスポーツは発展途上の競技であることから、普及促進や日常利用を促進させるアイデア・事業が求められる。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・事業化計画にて示したゾーニング別の施設整備等について、順次事業検討していく。
- ・江之島ビーチコートの計画遅延が見込まれる中で、官民連携による整備等、遅延を最小限に抑えるよう、事業手法を見直す。
- ・三ヶ日地区の基本構想を策定する。

##### (2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・整備に向けて、必要な業務(発注準備、測量・地質調査)を実施していく。
- ・整備事業と合わせて、観光シティプロモーション課からビーチマリンスポーツ普及事業を移管し、イベントの開催やWEBサイトによる情報発信等により、国内外からの誘客による交流人口の拡大を図る。



#### 7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・江之島ビーチコート整備の発注に向けて、公募図書の作成をする。
- ・三ヶ日マリンスポーツ拠点整備に向けて、測量や地質調査を実施し整備の実現性を検討していく。
- ・ビーチ・マリンスポーツ推進協議会の在り方を検討するとともに、競技団体と連携したイベントの実施やWEBサイトによる情報発信等により大会の誘致を目指していく。

## 事業シート (事業名) 05 スポーツ発信交流事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

「浜松シティマラソン」を開催し、市内外に浜松の魅力を発信するとともに、大会に携わるボランティアスタッフを募集し、大会参加者との交流の場を提供することで「するスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進を図る。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

	③保健							
事業とゴールの関連性	スポーツ実施率の向上により心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。							

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	21,234			16,000	17,500	
	決算	19,411			16,000		
	国・県支出						
	市債						
	その他	9,000			8,000	3,000	
	一般財源	10,411			8,000	14,500	
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		16,520	16,520	17,220	18,480	17,080	
人工	正規	2	2	2	2.6	2.4	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0	0.1	0.1	
年間経費(予算又は決算+A+B)		35,931	16,520	17,220	34,480	34,580	

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜松シティマラソン中学生ボランティア数		目標		180	190	200	210	220
		実績	165	—	—	—		
デュアルモードでスポーツに取り組む機会の提供		目標			リモートランの検討	リアル・オンラインでのイベント実施	オンラインでのイベント検討	
		実績			リモートランの検討	リアルイベントで実施		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度

分野  
06

基本政策  
01

政策  
02

予算費目  
01

所属コード  
000625000

事業

(担当課)  
05 スポーツ振興課

(責任者)  
松野英男

(基準日)  
2023.7.1

#### 4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

・コロナ対策を講じた上でウィズコロナの第19回浜松シティマラソンを開催する。



#### 5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・第19回浜松シティマラソンは、2023年2月19日にハーフマラソンのみ開催した。
- ・5,142人の応募があり、当日は4,327人が出走し、完走者は3,861人。
- ・市民ボランティアは801人集まった。
- ・前回開催された大会に比べて約200万の協賛金を集めることができた。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・コロナ禍が落ち着き、各地域で大会が開催された。
- ・一方で、大会運営の担い手不足や資金繰りの悪化により、廃止になった大会もあった。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、安心・安全な大会を開催することができた。

##### (2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・浜松シティマラソンが今後も継続して開催されるよう、組織体制等の見直しを検討する必要がある。
- ・次回の大会は、第20回の記念大会であるため、イベント等の企画を行う。



#### 7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・実行委員会組織体制の再構築の検討を行い運営の効率化を図る。
- ・第20回記念大会を盛り上げるため、ゲストランナーや催し物の検討を行う。

# 事業シート (事業名) 06 生涯スポーツ振興事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

市民がいつでもどこでも気軽にスポーツに親しめる機会を提供し、スポーツ推進スローガン「1・1・1運動」の推進とスポーツ実施率の向上を図る。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(法令義務)	

### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

### (4) 関連するSDGsのゴール

	③保健						
事業とゴールの関連性	スポーツ実施率の向上により心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。						

## 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	70,228	77,452	67,666	61,637	127,276	
	決算	69,162	75,507	59,414	68,064		
	国・県支出						
	市債						
	その他	49,616	21,990	24,053	44,824	45,981	
	一般財源	19,546	53,517	35,361	23,240	81,295	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	7,000	7,000	7,700	9,940	9,940	
人工	正規	1	1	1	1.3	1.3	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.3	0.3	
年間経費(予算又は決算+A+B)		76,162	82,507	67,114	78,004	137,216	

## 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
年間学校開放施設利用者数(千人)		目標	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680
		実績	1,532	1,159	1,286	2023.7頃確定		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

#### 4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- 【地域スポーツ大会開催事業】
  - ・市民スポーツ祭などを開催。
- 【スポーツ推進委員等活動支援事業】
  - ・スポーツ推進委員の資質向上のために行う研修会などへの支援。
- 【体育振興会等地域スポーツ普及事業】
  - ・校区体育振興会や浜松市スポーツ協会支部が行う地域での体育活動への支援。
- 【小中学校スポーツ施設開放事業】
  - ・社会体育振興のため、小中学校の体育館やグラウンド、柔剣道場等を広く市民に開放する。
  - ・学校施設をスポーツ施設として最大限活用するため、施設利用予約をスマート化する実証事業を開始。



#### 5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

- (1) 事業の成果と課題  
 指標の達成度
- 【地域スポーツ大会開催事業】
    - ・スポーツ大会の参加機会を提供することができた。
  - 【体育振興会等地域スポーツ振興事業】
    - ・各地域ごとに独自のスポーツイベントを開催し、地域スポーツの普及が図られた。
  - 【小中学校スポーツ施設開放事業】
    - ・学校スポーツ施設が有効利用され、地域住民のスポーツ振興が図られた。
    - ・一部の学校で実施したスマート化実証事業について、全市域への拡大にあたっての課題が確認できた。
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)  
 スポーツ大会等の参加者の増加や地域のスポーツ活動について、前年度と比較し増加していることから、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前の水準に戻りつつある。



#### 6 事業の見直し (Action)

- (1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
- |     |                                 |     |                               |     |                                 |    |                                 |
|-----|---------------------------------|-----|-------------------------------|-----|---------------------------------|----|---------------------------------|
| 大項目 | <input type="text" value="現状"/> | 小項目 | <input type="text" value=""/> | 事業費 | <input type="text" value="現状"/> | 人工 | <input type="text" value="現状"/> |
|-----|---------------------------------|-----|-------------------------------|-----|---------------------------------|----|---------------------------------|
- ・各競技団体の努力により、代替大会や規模を縮小しての大会開催を実施した。
  - ・施設再開後の小中学校スポーツ施設開放事業については、地域スポーツ活動の拠点として有効活用が図られた。
  - ・小中学校スポーツ施設開放事業における課題解決に向けて、一部のモデル校にてスマート化実証を行った。
- (2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)
- |     |                                 |     |                               |     |                                 |    |                                 |
|-----|---------------------------------|-----|-------------------------------|-----|---------------------------------|----|---------------------------------|
| 大項目 | <input type="text" value="現状"/> | 小項目 | <input type="text" value=""/> | 事業費 | <input type="text" value="現状"/> | 人工 | <input type="text" value="現状"/> |
|-----|---------------------------------|-----|-------------------------------|-----|---------------------------------|----|---------------------------------|
- ・各競技団体等に大会等の実施に向けての助言・提案を行い、スポーツ機会の提供を継続する。
  - ・小中学校スポーツ施設開放事業のスマート化実証事業の検証を行い、課題を整理した上で順次全市域へ展開する。



#### 7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- 【地域スポーツ大会開催事業】
  - ・市民スポーツ祭などの開催。
- 【スポーツ推進委員等活動支援事業】
  - ・スポーツ推進委員の資質向上のために行う研修会などへの支援。
- 【体育振興会等地域スポーツ普及事業】
  - ・小学校区単位で設立された体育振興会や体育協会支部が行う地域での体育活動への支援。
- 【小中学校スポーツ施設開放事業】
  - ・社会体育振興のため、小中学校の体育館やグラウンド、柔剣道場等を広く市民に開放する。
  - ・スマート化の本格実施に向けた作業を進める。

## 事業シート (事業名) 07 競技スポーツ振興事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

競技力の向上を目的とした選手育成事業の実施や全国大会出場者への激励金贈呈、競技スポーツに取り組む市民への活動を支援する。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

	③保健							
事業とゴールの 関連性	スポーツ実施率の向上により、健康寿命が延びていることを市民が実感できるようにする。							

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	10,260	10,256	10,369	11,050	14,966	
	決算	10,098	6,798	8,545	9,696		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	10,098	6,798	8,545	9,696	14,966	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,900	4,900	4,900	5,460	5,460	
人工	正規	1	1	1	0.7	0.7	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.2	0.2	
年間経費(予算又は決算+A+B)		14,998	11,698	13,445	15,156	20,426	

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
高校生以下の全国大会出場者数(人)		目標	870	876	882	888	894	900
		実績	812	231	651	796		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度

分野

06

基本政策

01

政策

02

予算費目

01

所属コード

000625000

事業

07

(担当課)

スポーツ振興課

(責任者)

松野英男

(基準日)

2023.7.1

#### 4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

##### 【静岡県市町対抗駅伝競走大会事業】

・浜松市実行委員会を組織し、選手選考会でチーム編成を行い、静岡県市町対抗駅伝競走大会に、浜松市南部、北部の2チームを出場させる。

##### 【ジュニアスポーツ育成事業】

・市内の中学生で選抜選手を対象に、11種目の競技で強化練習会を開催し、競技力の向上を図る。  
・ジュニアスポーツ競技力向上等事業費補助金交付要綱を見直し、多くの団体に補助金を活用してもらう。

##### 【全国大会出場選手等激励事業】

・国際大会、全国大会へ出場する選手、コーチ、監督に激励金を贈呈し顕彰する。



#### 5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

##### 【市町対抗駅伝競走大会】

・浜松市北部が優勝、浜松市南部が2位と2チームが最高の成績を収めた。

##### 【ジュニアスポーツ育成事業】

・11種目の各競技で強化練習会を開催し、中学生の競技力向上に寄与した。  
・要綱の見直しは行わなかったが、新規での申請が3件あったため、昨年より補助金の活用団体件数が増えた。

##### 【全国大会出場選手等激励事業】

・コロナ禍が落ち着き、多くの競技で全国大会開催されたため、全国大会出場者がコロナ前の水準に戻った。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・区再編を踏まえ、2024年度に向けた駅伝チーム編成の検討  
・休日の地域部活動への移行に関わる支援等の検討



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

・2021年度の状況を考慮し、ジュニアスポーツ競技力向上等事業費補助金の予算額を増額したため、予算内で全ての申請に対応することができた。

##### (2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

・駅伝業務を一部委託化し、職員の事務負担軽減を図る。  
・ジュニアスポーツ競技力向上等事業費補助金について、要綱を制定してから3年度が経過。2023年度は全庁的な補助事業の見直し周期であるため同種の委託や負担金事業との整合を図る中で積極的な見直しを行う。



#### 7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

##### 【静岡県市町対抗駅伝競走大会事業】

・駅伝業務の一部を委託する事業者と連携を図り、浜松市チーム大会出場のためのサポートを行うとともに、区再編による浜松市チーム再編の検討を行う。

##### 【ジュニアスポーツ育成事業】

・市内の中学生で選抜選手を対象に、11種目の競技で強化練習会を開催し、競技力の向上を図る。  
・ジュニアスポーツ競技力向上等事業費補助金交付要綱を見直し、さらなるジュニアの普及促進・競技力向上の推進を図る。

##### 【全国大会出場選手等激励事業】

・国際大会、全国大会へ出場する選手、コーチ、監督に激励金を贈呈し顕彰する。

## 事業シート (事業名) 08 スポーツ施設運営事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

スポーツ施設の適正な管理運営、効果的な整備を行い、競技スポーツ・生涯スポーツの場を提供する。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

	③保健								
事業とゴールの 関連性	スポーツ実施率の向上により、心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,877,265	2,062,190	1,873,550	1,417,748	1,960,008	
	決算	1,853,579	2,029,313	1,800,030	1,300,776		
	国・県支出		68,148				
	市債	368,200	152,600	333,400	14,700		
	その他	117,862	465,264	47,705	186,712	209,869	
	一般財源	1,367,517	1,343,301	1,418,925	1,177,533	1,750,139	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	18,200	21,000	19,600	17,500	14,700	
人工	正規	3	3	3	2.5	2.1	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,871,779	2,050,313	1,819,630	1,318,276	1,974,708	

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
生涯スポーツ施設の利用者数(千人)		目標	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
		実績	5,417	3,746	4,447	4,400		
新野球場を含めた遠州灘海浜公園の施設整備等に向けた静岡県との協議		目標	県協議 (基本計画)	県協議	県協議	県協議	県協議	県協議
		実績	県協議 (基本計画)	県協議	県協議	県協議		
四ツ池公園スポーツ施設再整備の検討		目標	委員会協議	整備方針策定	整備方針策定	方向性の検討	方向性の検討	基本構想
		実績	委員会協議	委員会協議	委員会協議	委員会協議		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度

分野  
06

基本政策  
01

政策  
02

予算費目  
01

所属コード  
000625000

事業

(担当課)  
08 スポーツ振興課

(責任者)  
松野英男

(基準日)  
2023.7.1

#### 4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・民間事業者への委託等によりスポーツ施設55施設の管理運営を行った。
- ・機能維持・向上のための修繕工事等を実施した。
- ・県立野球場の整備に向けての県との連携協力を行った。
- ・四ツ池公園運動施設の整備検討を行った。

#### 5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・施設利用者は、新型コロナウイルス感染症の影響が縮小したものの、コロナ禍以前の水準までには戻りきっていない。
- ・激しく消耗した浜北平口サッカー場の人工芝改修を行った。
- ・天竜体育館の大規模改修を実施した。
- ・静岡県の野球場基本計画策定に向け、県との情報交換を行った。
- ・古橋廣之進記念浜松市総合水泳場のRO導入に向けた準備を行った。このほか、浜松アリーナのあり方検討についての庁内調整を実施した。
- ・四ツ池公園運動施設については、特別委員会において検討を行うなど、整備方針策定に向けた取り組みを進めた。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

スポーツ大会等の参加者の増加や地域のスポーツ活動について、前年度と比較し増加していることから、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前の水準に戻りつつある。

#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・古橋廣之進記念浜松市総合水泳場のRO導入のノウハウを浜松アリーナにも展開する。
- ・施設の機能維持のため計画的に修繕工事を実施していく必要がある。
- ・老朽化した施設が増加しているため、計画的な維持修繕に努める。

##### (2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・安全性の確保を最優先とし、計画的に修繕を進める
- ・老朽化した施設が多いため、施設の統合・縮小・廃止など検討する。
- ・四ツ池公園運動施設については、県の動きを踏まえ、方向性を決定する必要がある。
- ・指定管理の更新時には、応募時の競争性を発揮できる工夫を盛り込むことを検討する。
- ・ToBiOの次期事業の事業者選定に向けたアドバイザー業務を実施し、円滑な事業更新の準備をしていく。

#### 7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・ToBiOの次期事業の事業者公募、事業者選定に向けた業務を着実に進める。
- ・浜松アリーナのあり方検討を踏まえ、国の委託事業を活用した戦略的なリニューアル構想の検討を行う。
- ・老朽化した浜松市武道館の更新整備に向けた基本計画策定を行う。
- ・四ツ池公園運動施設について、県の動きを踏まえ、特別委員会の意見を聞く中で整備の方向性を決定する。整備方針策定後は、基本構想策定に向けたサウンディング調査を行う。
- ・静岡県の野球場の整備に向けて、県との連携協力を行う。

## 事業シート (事業名) 09 スポーツ施設整備基金積立金

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

浜松市スポーツ施設整備基金の積立金。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1975	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市スポーツ施設整備基金に関する条例

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	500,242	464	489	242	4,664	
	決算	500,192	264	389	242		
	国・県支出						
	市債						
	その他	192	264	389	242	4,664	
	一般財源 一般会計繰入金	500,000					
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		280	560	560	700	700	
人工	正規				0.1	0.1	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		500,472	824	949	942	5,364	

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度

分野

06

基本政策

01

政策

02

予算費目

01

所属コード

000625000

事業

09

(担当課)

スポーツ振興課

(責任者)

松野英男

(基準日)

2023.7.1

#### 4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

浜松市スポーツ施設整備基金の運用益や市民からの寄附金を積み立てる。なお、基金は条例に基づきスポーツ施設の整備費に充当する。



#### 5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・運用益を基金へ積み立てた。

2022年度末基金残高=686,632,692円

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

2022年度は一般財源からの積み立てがなく、運用益収入のみであったため、事業費は縮小した。

##### (2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

基金を有効に活用し、計画的な施設整備に努める。



#### 7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

浜松市スポーツ施設整備基金に関する条例に基づき、基金の運用益を基金に繰り入れし積み立てる。また、市民、民間事業者などからの寄附金があれば、基金に積み立てる。基金はスポーツ施設の整備費に充当するときに処分する。

# 事業シート

(事業名) 10 スポーツ文化推進運営経費(一般経費のみ)

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

--

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性
----------------

## 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	12,633	9,591	9,848	10,654	8,782	
	決算	10,681	8,346	9,215	10,072		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	10,681	8,346	9,215	10,072	8,782	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		11,480	10,780	12,180	6,580	7,980	
人工	正規	2	2	2	0.9	1.1	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0	0.1	0.1	
年間経費(予算又は決算+A+B)		22,161	19,126	21,395	16,652	16,762	

## 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度

分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)  
06 01 02 01 000625000 10 スポーツ振興課 松野英男 2023.7.1

#### 4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)



#### 5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

##### (2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工



#### 7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)